

Tokyo Tobihino Rotary Club



会長テーマ
ロータリークラブここにあり！

2022-23 Weekly Report vol.35-43



会長 守重 昌之



幹事 仙波 秀夫

2023年5月21日(日) 第1631回 ロータリー奉仕デー 於:イオンモール摩平の森

◆◆◆ フードバンクとは ◆◆◆

安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などが寄贈し、必要な施設や団体、困窮世帯に無償で提供する団体および活動のことを指します。もう少しわかりやすく言うと、「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を、困っている人たちに無料で提供する」仕組みです。容器が破損していたり、包装に印刷ミスがあったりすると、企業は商品として売ることができません。つまり、食品自体に影響がなくても、廃棄しなければいけないのです。フードバンクは、安全に食べられる食品を廃棄することを防ぎ、必要な人が無料で食品を受け取ることができるため、企業だけでなく個人、環境にも優しい取り組みと言えます。(HPより)

◆◆◆ フードバンク イベント ◆◆◆

日野ロータリークラブ・飛火野ロータリークラブ会員が早朝から商店会から借用した TENT を設営し、10時より午後3時まで食品寄付を受付しました。今回は、ロータリー奉仕デーを前に Jcom の取材を受け、市内にケーブル TV で放映されました。開始にあたり両クラブ会長から挨拶があり、両クラブ会員と日野社会福祉協議会の職員さん、中央大学のボランティアの学生さん、日野レッドドルフィンズの選手の皆さんが通りゆく市民に食品の寄付を呼びかけました。市民の反応は良く多くの方が

耳を傾けてくれ、「どこに送ればいいのか」「来年は協力します」という人もいました。

昨年から始めたこのプログラム2回目ですが、フードドライブの趣旨【未使用や使いきれない食品を持ち寄り、食品を必要とする施設や個人届ける】が、チラシなどで知れ渡り定着し始めたかに思われます。さらに広まればと思います。

新型コロナウイルス流行で、解雇された、労働時間が減り収入減となった、仕事が減り商売が行き詰まり廃業したなど新聞やテレビで、生活がきびしく、食料も十分に調達できない方・支援を求めの人がたくさんおられることはメディアが取り上げています。

生活環境が変化する中で、貧困化が進み、困窮者に支援の手が生まれています。

年末の炊き出し、住宅の確保、食品の配給など様々な支援が行われ、「フードバンク」もその一環として始まった福祉事業です。

報道を見てうちにも余っている食品はあると思っても届け先がわからないという人もたくさんいます。義援金・見舞金・寄付金などは送り先がいろいろな形で示されていますが、「フードバンクの主旨」に賛同しても、食品をどこに届ければいいのかかわからない方もたくさんいます。チラシも効果があると思いますが、ポスターで告知するのも効果はあると思います。また、個々の呼びかけも大切だと思います。

今回食品をお持ちいただいた方のお話。

「いままで自宅にある余った食品を差し上げたいと思っていたが方法がわからなかった、チラシを見たので持ってきた」とチラシを見たのでいう人。

「買い物に来たが、目立つ場所で呼びかけられていたので家に戻りささやかですが」と食品をお持ちいただいた方。

ケーブル TVを見たので届け先がわかり持ってきたという方。

呼びかけに賛同したクラブ会員からも、家に眠っていた食品がたくさん持ち込まれました。

皆さんからいただいた食品は、日野社会福祉協議

会を通してフードバンク TAMAにお届けしました。
ご協力ありがとうございました。

10時から休憩時間を挟んで午後3時までに段ボールで385.6kgが集まりました。

お疲れ様でした。奉仕活動終了後、反省会を兼ねて慰労会を行いました。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1631回	22	17	1	-	4	82
第1628回	22	18	0	0	4	82

ニコニコBOX

本日 8,717円

累計 844,407円

本年度目標額1,200,000円 達成率70.36%

※今週のメイクアップ 水野さん

※先々週の後メイクアップ なし

